



# 桂小だより

2月号

令和6年1月31日

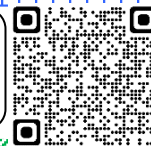
KATSURA NEWS LETTER

横浜市立桂小学校

Web: <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/katsura/>

学校についての詳細や学校生活についてはHPをご覧ください。

E-mail: [y3katura@edu.city.yokohama.jp](mailto:y3katura@edu.city.yokohama.jp) 桂小学校HPのQRコードはこちら→



## 子どもたちの未来と地域の未来のために

副校長 川本 佳織

「地域の皆さんと、もっと関わっていききたいな。」

昨年度着任したときに、私が思ったことです。コロナ禍前は様々な交流があったのかもしれませんが、昔からお世話になっている方が少なく、貴重な存在だと感じました。ボランティアさんたちは、コロナ禍でも工夫して活動を続けてくださっていたのですが、人数が少なくて心配だとおっしゃっていました。そこで私は、もっと地域の方との交流を増やしていきたく思ったのです。

子どもたちは、小学校、中学校、高校～社会へと飛び立ち、成長していきます。同時に、家庭、学校、地域へと生活空間を広げていきます。地域の次世代を担う子どもたちを育てていくのは、保護者であり、教職員であり、地域の方々だと思います。

学校では、この先何が起こるのか予測不可能な時代を生きる子どもたちに、実際に活用できる知識や技能、思考力・判断力・表現力、学びに向かう力や人間性を身に付けたいと考えています。課題に直面しても、学んだことを生かして、他者と協働して解決に向かうことができる人になってほしいのです。そのために、学習指導要領に沿って、バランスよく様々な基礎・基本を身に付ける学習はもちろんのこと、人権教育、外国語教育、プログラミング、SDGs、インクルーシブ教育などを実施したり、1人1台端末を効果的に使った誰一人取り残さない学習を目指したり・・・と、やりたいことが盛りだくさんです。つい最近まで、「学校は保守的でなかなか変わらない」と言われていましたが、今も昔も変わらず大事にしたいものを継続しつつ、新しいものを取り入れ、社会のニーズに応えるべく日々努力しています。でも、時間も人手も足りなくて諦めることもあるのです。

とは言え、お忙しい皆さんに、一方的に協力をお願いしたいわけではありません。子どもたちや教職員の負担になるようなこともしたくはありません。求めているのは、子どもたちも教職員も、保護者の皆さんも地域の方々も、皆が楽しい、うれしい、幸せだと感じる、桂小に合った教育活動です。

私はこれまでの教員人生の中で、保護者や地域の方と関わる活動が、子どもたちの学びに向かう意欲を劇的に高める場面を何度も見てきました。地域の方に、「子どもと一緒に過ごすすと若返るよ。」とか、「子どもたちが頑張っている姿を見ると涙が出るほど感動する。」などの声をいただき、自分も目頭が熱くなったことがあります。本校では、PTAの協力員制度にとても感謝しています。また、「エプロン先生」をはじめ、今ボランティアさんがやってくださっている活動を、今後も継続してほしいと願っています。今後は、生活科、総合的な学習の時間や、家庭科、図画工作科等で、子どもたちを見守ったり、発表を見ていただきたいな、と思っています。それにより、子どもたちの選択肢が増えたり、安心要素となったり、自己肯定感が高まったりします。人の温かさや、地域のよさに気付いたり、感謝の気持ちをもったりします。教職員も、皆さんがいてくださると安心するし、成果を実感できるだけでなく、また頑張ろうという力や、地域の役に立ちたいという思いが湧いてくるのです。

今年度、「桂小地域学校協働本部」を新設しました。地域コーディネーターの資格を有する代表の城下さんと、副代表の中野さんを中心にして、学校、保護者、地域の緩やかなネットワークをつくり、子どもたちを応援しようとしてくださっています。「おやじの会」もそうですが、「おはなし広場」「リペアブック」「デコブック」「ガーデニングママ」は、新メンバーを随時募集しています。好きなきに、少しの時間でもよいそうです。やってみようかな、という方は、メンバーさんや、学校、代表さんに声をかけてください。よろしく申し上げます。

桂小学校 TEL 045-961-7433 (窓口： 副校長 川本)

E-mail: [y3katura@edu.city.yokohama.jp](mailto:y3katura@edu.city.yokohama.jp)



